



山大病院だより

特集

地域医療教育研修センター“白翔館”が完成 「医進！前進！」はここから hakushoukan

3/19 「竣工記念式典」を開催しました



このたび、県内の臨床研修医の拠点となる施設「地域医療教育研修センター」が小串キャンパス内に完成し、3月19日(月)、関係者による竣工記念式典を開催しました。

当センターは、県内で臨床研修を行う研修医のための専用施設として、『地域医療マインド』を持つ優れた医療人の育成を支援していきます。

50室の研修医専用自習室※は、県内で臨床研修を行う研修医(歯科研修医を含む)であれば、山口大学医学部附属病院での研修の有無にかかわらず使用可能です。また、実習室のほか、談話室、図書ミーティング室、研修室を備えておりますので、研修医の皆様ネットワークづくりにぜひご活用ください。

※オール電化 ワンルーム形式26㎡



詳しくは地域医療教育研修センター HP をご覧ください <http://www.tikk-c.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>

「地域医療教育研修センター完成にあたって」

山口大学医学部附属病院長
岡 正朗



2年間の卒後臨床研修義務化が発足し、研修医教育の充実が求められています。そのためには、教育プログラムと研修医支援の両方の充実が必要となります。この度、山口県の支援を受け「山口大学医学部附属病院地域医療教育研修センター」が完成し、研修医の皆さんが臨床研修に専念できるより良い環境が整備されました。長い名前なので、学生・教職員に愛称を公募し、「白翔館(はくしょうかん)」と呼ぶことになりました。この施設では、カンファレンスルームはもちろん50室の研修医専用自習室があり、ゲストルームも2室備えています。コンパクトで居心地良い部屋となっており、使用料も格安となっています。大学では魅力ある卒後臨床研修プログラムおよび支援体制の提供と相まって、多くの研修医が山口大学のプログラムを選択し、引き続き山口県の地域医療あるいは先端医療の開発に活躍していただくことを期待しております。

医療人育成センター
研修医・専門医支援部門長
神田 隆



長年の懸案であった地域医療教育研修センターが完成しました。研修医諸君が医師としてのこの上ないスタートを切る環境が出来上がったと自負しています。山口大学病院での研修が他病院と比べてアメニティの面で立ち後れている、という指摘はこれでかなり払拭できたように思いますが、これからは研修の内容での勝負です。研修医・専門医支援部門では、山口大学医学部附属病院の総力をあげて充実した研修生活のバックアップを続けていきたいと考えています。1日の疲れを癒す場として存分に活用して下さい。

Human

ひと

この春に退職される先生・職員の皆さまのご紹介と退任のご挨拶。

退任の挨拶
 山口大学医学部附属病院
 第2内科
 診療科長 松崎益徳

今年3月末日をもって、退任いたします。
 私の医師としてのキャリアですが、

卒業1年目に学内で1内科・中央検査部を、2年目には、済生会下関総合病院の内科で、人工透析・循環器内科・呼吸器内科等の研修及び東京女子医大心研へ国内留学をいたしました。

東京女子医大でのペースメーカーの研修が、その後の私の循環器内科学の基本となりました。

卒業3年目の昭和50年4月に、当時三瀬淳一教授が主催されていた第2内科へ帰局、1981年にはCirculation誌に経食道心

工コ法の論文が掲載され、世界的にこの検査法が広がっていきました。同年からカリフォルニア大学

Sandiego校循環器科に留学、3年弱を米国で過ごし、帰国後、講師・助教授を経て、平成4年9月1日から第2内科の教授を拝命し、今年で20年目になります。

平成17年4月1日からは附属病院長を拝命し、病院機能の強化・病院経営の改善に邁進してまいりました。

病院の機能強化としては、平成18年に1病棟10階東に無菌室を設置、平成19年に1病棟3階西の救急病床を改修・整備しました。救急病床については、病院機能評価でも「他大学の手本になる」という評価をいただいております。

同年6月には、7対1看護を導入し、看護体制の強化を実現しました。

7対1看護の導入は、病院収入へも多大な貢献をしており、花田看護部長を始めとする看護部の皆様には、体制を整えていただいたことに対し、大変感謝しております。

また、院内環境整備として、平成20年にはドートルコーヒーを病棟内に誘致しました。

同年には、一度での合格が難しいとされていた病院機能評価Ver.5.0にも一発合格しました。

これは偏に谷澤副院長の下、全職員の皆様の一糸乱れぬ協力があってこそ実現できたことであると思っております。

また、山口県がん診療連携拠点病院にも指定される等、山口県等の地域との連携も強化してまいりました。

病院経営については、病床稼働率の増加を最大の目標とし、入院・外来診療単価の増額や医療経費の

削減等、経営健全化に向けた取り組みを推進してまいりました。それに加え、債務償還経費減少の効果もあり、附属病院長在任中に収益力のある磐石な病院経営の礎を築くことができ、一安心したことを今でも覚えております。



山口大学大学院医学系研究科 教授 佐々木功典

また、病院長ヒアリングを実施し、診療科・中央診療施設ごとの機器更新や人員配置の要望、問題点を直接伺いながら病院機能の改善にも努めてまいりました。皆様のご尽力に心から感謝申し上げます。

その他にも、感染制御室の設置、外来腫瘍治療部の創設等、病院長在任中にはここでは全て書ききれないほどの出来事がありました。今ではそれも懐かしく思います。

これら全てについては、病院の全職員の皆様の協力があったからこそ実現できたことであり、心から感謝申し上げます。

今後は、岡病院長の下、更に山口大学医学部附属病院が発展するよう、強く願っております。

退任の挨拶
 山口大学医学部附属病院
 検査部
 部長 日野田裕治

平成11年9月1日に赴任してから12年と6か月の間、不十分であることは言うまでもありませんが、何とか勤めを果たすことができました。この春、歴代病院長先生方のお力添えと優秀な副部長およびスタッフの皆様のおかげです。

検査部、輸血部、遺伝診療部、再生細胞治療センター、感染制御室、腫瘍センターと多くの業務に従事させていただきました。検査部では田中伸明副部長、村田和也副部長、中村準二技師長、輸血部と再生細胞治療センターでは藤井康彦副部長、遺伝診療部では末広 寛副部長、感染制御室では有好浩一副室長、福田尚文副室長、腫瘍センターでは吉野茂文副室長が、それぞれ高いレベルの仕事をして部門を支えてくれました。

また、看護部長を始めとする看護スタッフ、臨床検査技師スタッフ、薬剤部長を始めとする薬剤師スタッフ、事務部長を始めとする総務課、経営管理課、医事課スタッフの皆様には特別にお世話になりました。



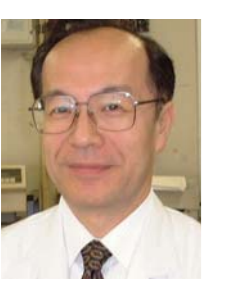
山口大学大学院医学系研究科 システム制御医学系学域 医療環境学分野 教授 谷田憲俊

退任の挨拶
 山口大学大学院医学系研究科
 システム制御医学系学域
 医療環境学分野
 教授 谷田憲俊

本学に赴任してから数えて10年です。講義や講習会では課題ばかりを語ってきました。それは患者さんに満足していただく医療を提供するためで、そのためには職員が就業によって喜びと満足が得られる職場であるという前提があります。本学医学部附属病院にはマグネット・ホスピタルという、その実践があることを知りました。それらの取り組みは高く評価されており、私も倫理研修やお悩み相談等で、その一翼を担えたことを誇りに思います。

これからも患者さん側の要求は増え続けるでしょう。それを支える職員の業務負担も増大します。患者さんと職員双方を大切にすることこそ、厳しい医療環境を乗り切る道だと思います。つい教訓話になるのは、日頃の習慣ゆえです。お許しくください。

最終講義「幸せの生命倫理」では、「つながり(絆)をキーワードとして連帯を表しました。皆様の幸せとご健勝を活躍を祈ります。



山口大学大学院医学系研究科 システム制御医学系学域 医療環境学分野 教授 谷田憲俊

平成23年度 退職者の皆さま
 本学でご活躍され、この春に退職される先生方、職員の皆さま、本学にお疲れ様でした。

事務部	薬剤部	看護部	医学部	附属病院
小倉 貞雄 経営管理課	佐伯 栄子 薬剤部	山下美由紀 第一病棟三階東 梶村 光枝 看護部長室 西山美智恵 リハビリテーション部 横田 久子 第一病棟六階東 松浦香枝子 外来棟 三村 豊子 看護部 三原ヤスコ 看護部 山田美智子 看護部	辻野久美子 母性看護学分野 Susan Turale 基礎看護学分野 高橋 睦夫 基礎検査学分野	松崎 益徳 第二内科 日野田裕治 検査部・輸血部等
安食 二三 経営管理課契約第三係 杉本 修一 経営管理課施設係			中村 彰治 システム神経科学分野 芳原 達也 環境統御健康医学分野 谷田 憲俊 医療環境学分野	佐々木功典 分子病理学分野

NEWS&TOPICS

● 卒後臨床研修初期プログラム協力型臨床研修病院説明会

平成24年2月19日(日)、医学部霜仁会館において、医学生に山口大学卒後臨床研修初期プログラムについて理解してもらうことを目的とした説明会を開催し、県内13の協力型臨床研修病院から指導医及び研修医と、33名の学生が参加しました。説明会は、岡病院長の挨拶に引き続き、原田医療人育成センター専任教員より本院卒後臨床研修初期プログラムについて全体説明を行った後、協力型臨床研修病院がブースで、病院の施設・診療科の特徴や実際の研修の様子について訪れた学生に説明を行いました。

参加した学生からは、「研修制度や協力型臨床研修病院の特徴を聞くことができ、有意義な時間を過ごせました」などの感想がありました。



● 臨床研修セミナー「松下村医塾2012」特別講演会

平成24年1月27日18時30分より、医学部第3講義室において、山口大学医学部附属病院臨床研修セミナー「松下村医塾2012」を開催しました。

セミナーでは、本学の卒業生で名古屋大学医学部附属病院、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター教授の植村和正先生より「大学病院における臨床研修一名大ネットワークの経験から」と題して講演をいただきました。

講演では、名古屋大学と関連病院における臨床研修の歴史、実情と課題、東海地区の若手医師の動向、名古屋大学病院の初期臨床研修についての説明があり、最後に大学病院における臨床研修の在り方について、名古屋大学病院だけでなく、筑波大学病院及び滋賀医科大学病院の取り組み状況について紹介がありました。



退任の挨拶
 山口大学大学院医学系研究科
 研究科長(医学部部長)
 教授 佐々木功典

3度目となる本学での勤務が始まったのは15年前でした。そしてこのたび定年を迎えることになりました。何とかここまで務めることができましたのも皆様の指導ご支援のおかげと衷心より感謝しております。この場を借りて附属病院の皆様には厚く御礼申し上げます。短い期間でしたが病理部長として附属病院の業務にも携わり、附属病院について知ることができました。附属病院における病理診断業務の半分を第2病理で日常的に担当させていただきましたが、その間診療が円滑に進むようにとの認識で教職員全員が全力で診断に従事してまいりました。附属病院における手術が大幅に増えていることは、皆様によく知られているところですが、その手術が増えますと病理検査も当然増加してまいります。このような状況に対応できたのも、関係各位のご尽力の賜とこの場をお借りして感謝申し上げます。

末筆となりましたが、附属病院の益々のご発展をお祈り申し上げます。

有り難うございました。



退任の挨拶
 山口大学大学院医学系研究科
 保健学専攻 基礎検査学分野
 (保健学専攻)
 教授 高橋睦夫

私は1966年4月に本学医学部に入学して以来、定年退職するまで46年もの間、本学医学部あるいは附属病院に在籍しました。専門は病理学で、大学を卒業後は、第一病理で研究と病理診断に携わっていましたが、当時の病院長の河合伸也先生のご尽力により、1989年9月、院内措置で病院病理部が設置され、同部に異動しました。その後、病院病理部の実績が評価され、1997年4月から病理部として省令化され、わたしは副病理部長として、附属病院の外科病理診断と病理解剖に12年間余にわたって従事しました。2002年4月から、現在の職場の保健学科に異動し、退職前の4年間、検査技術科学専攻長と保健学科長を各々2年ずつ、務めさせていただきました。保健学科の管理・運営に努力いたしました。退職後は美祢市立病院に再就職します。

附属病院の皆様には、色々なことで、また、お世話になると思いますので、今後とも、宜しくお願ひ申し上げます。

睦夫 教授 最終講義



INFORMATON

●医学部図書館がリニューアルしました



平成24年3月2日、医学部図書館の改善改装が完成し、佐々木医学部長をはじめ関係者が参加し、見学会を執り行いました。

図書館副館長である小林教授(生体機能分子制御学分野)が、館内を案内され、リニューアルした閲覧室等が紹介されました。医学部図書館施設は、経年劣化による老朽化が目立ち、設備の充実が早急の課題となっており、平成22年度から整備が着手されました。このたびの改修では、図書館の活性化の一環として、医学部学生からアイデアを募集し、優秀作品には表彰状が授与されました。そのアイデアを参考に、2階閲覧室の座席数を大幅に増加し、各机に電源コンセントを設置、全ての椅子を新しくするなど、学習環境を改善しました。

今後も、多くの皆さまが快適にご利用いただけるよう努力してまいります。

●山口ケーブルテレビで放送中の番組を 外来待合室等のテレビにてビデオ放送で紹介。

現在、山口ケーブルテレビにて放送している番組「医進!前進!～山口大学医学部研究室探訪～」を編集して、外来待合室テレビ及び各病室に置く床頭台据付テレビにて放送を始めました。

ご家庭でケーブルテレビが視聴できない方や教職員の皆さまも是非ご覧ください。



放送方法

● #1 (8月放送分)～最新放送分を毎日7:30～17:00までリピート再生で放送中

● 新規テーマで制作し、放送された場合は、追加して放送します。

SCHEDULE

山口大学臨床研修セミナー 「松下村医塾 2012」 特別講演会のご案内

- 日 時 平成24年5月1日(火) 講演: 17時30分～
- 場 所 山口大学医学部 第3講義室
- 対 象 学内教職員(看護師長、副師長を含む)、県内研修協力病院指導医、研修医、医学生
- 演 題 「クリニカルクラークシップ ー臨床研修との一体化の試みー」
- 講 師 東京医科歯科大学/医学部医学科教育委員会 委員長 田中雄二郎 先生
- 主 催 山口大学医学部附属病院
- 後 援 (社)山口大学医学部同窓会 霜仁会、山口県医師臨床研修推進センター

お知らせ (TV放送)

Announcement

「山口から世界へ!」世界をリードする最先端の研究をわかりやすく地域へ紹介!!

「医進! 前進! ～山口大学医学部研究室探訪～」

放送日 毎週水・土・日曜日
11:45～12:00、20:00～20:15
※放送時間は、変更される可能性があります。

放送局 山口ケーブルTV

上記時間帯にて、絶賛放送中!!

「山大病院だより」へのご意見・ご要望をお待ちしています!!

前号の新年号からリニューアルしたばかりの本誌「山大病院だより」。

今後、ますます充実した誌面にしたいと考えておりますので、読者である皆さまからの活発なご意見・ご要望をお待ちしています。

- こんな情報を取り上げてほしい
- こんな特典があれば嬉しい
- このコーナーが面白かった/面白くなかった etc.

ご意見・ご要望はこちらへ

FAX 0836-22-2113 E-mail me202@yamaguchi-u.ac.jp

● 編集担当(総務課・総務係: H.N・M.A)

2ヶ月ぶりでございます。

今回は、ご退職される方々の特集号にいたしました。皆様もお世話になった先生・職員の方がいらっしゃるのでは?? ご退職される皆様、長い間お世話になりました! m(._.)m ということで、今号は長年勤めていただいた方の紹介をどうしでもしたかったので、ご勤弁を…m(._.)m

編集後記



次号は新年度の第1号になるので、色々新しい情報やニュースを盛り込めればなあ…と、花粉症に悩まされながら考えております(笑)

次号からもどうぞご愛読の程、よろしく願います♪m(._.)m